



# SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2016～2017年度 RI会長 ジョンF. ジャーム  
RIテーマ 人類に奉仕するロータリー

クラブテーマ「出会いに感謝&ありがとう」会長 中山和雄

副会長 山口辰哉 幹事 米山晴敏

## 第1298回例会 2016.10. 28(金)雨

司会:山口辰哉君 指揮:勝又佳員君  
ロータリーソング「日も風も星も」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120  
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

### 会長挨拶

会長 中山和雄君



こんにちは。家族会には金沢で高校の同窓会に出席していたため欠席して申し訳ありません、親睦委員長を始め準備に係わった皆さんお疲れ様でした。また26～27日にかけて中学の同窓会を京都で行い、55年ぶりに再会した友もいました。

さて今日は例会場変更で米山記念館での例会でありますので米山梅吉翁について少し紹介させていただきます。米山梅吉翁は明治元年2月4日、東京芝田村町で生まれました。この年は日本で270年続いた江戸幕府が崩れ、江戸時代が明治時代となり、江戸が東京と改まった記念すべき年でした。武士であった父親が早くに亡くなったため、母親(三島大社の神主の娘)の郷里三島に移り住み、8歳の時一番上の兄が先生をしている長泉村の映雪舎に入学し三島から長泉へ歩いて通学していたのですがその途中に米山家があり米山家の13代当主の米山藤三郎翁が通学途中の梅吉少年を見初めて12歳の時に米山家から養子にほしいとの話があり、12歳～16歳まで恵まれた環境で勉学に励む事が出来たようです。米山家には春子さんという娘がおり、のちに米山夫人となります。14歳の時沼津中学に入学し、当時は中学と言えば静岡まで行かなければ入れなかった時代でしたが、江原素六翁が地方の青少年の為に新教育の道を開くために沼津兵学校を沼津中学として開校したものでした。16歳の時には沼津では学ぶだけ学んだので東京で勉強をしたいとの思いが強くなり、明治16年12月黙って米山家を出て、箱根の山を一人で超え三日がかりで上京しました。漢学やアメリカで新しい学問を学びたいとの思いで英語を学びながらアメリカ行きの準備をし、4年の月日がたちました。ただ米山家を黙って出てきたことに気が引けていましたのでアメリカに行く前に養父とその娘春子にお詫びしすべてを許してもらい、明治20年10月6日和田家より米山家の養子として入籍、そして上京する時とは違って親兄弟に温かく見送られ、明治21年アメリカに渡りました。大学に入る準備の為、学費を稼ぎながらベルmontアカデミー(高校)に入学し、それから2つの大学で法学を勉強して明治28年に帰国、この年は日清

戦争が終わり、下関条約が結ばれた年でした。明治29年10月米山春子さんと結婚し英語の出来る人を求めている日本鉄道会社に入社、明治30年10月三井銀行に入社、2年後上役の人に認められ優秀な3人が2年間にかけて欧米の銀行を見て学んで来る役目を命じられ帰国後の報告書は日本のこれまでのやり方を新しく改める元となったそうです。日本のロータリークラブは大正9年53歳の時に日本ロータリークラブをつくり会長になりました。以上、米山梅吉翁物語の中から一部を紹介させて頂きました。

ようこそせせらぎ三島  
ロータリークラブへ

大村典央さん(仲原君のゲスト)  
ペレーラ チャリットさん(米山学友会)

### 出席報告

|     | 出席総数  | 出席率    | マークアップ | 修正出席率  |
|-----|-------|--------|--------|--------|
| 前々回 | 30/38 | 78.95% | 37/38  | 97.37% |
| 今回  | 25/36 | 69.44% | 会員総数   | 39名    |

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

石井(司)君、内田君、小島君、小林君、篠木君、杉山(順)君、鈴木(政)君、鈴木(真)君、中本君、原君、兵藤君

(\*出席免除会員の欠席者 大房君、澤田君、渡邊君)

### 幹事報告

幹事 米山晴敏君

- ①大村さんの入会について、例会後理事会を開催しますので理事の方残って下さい。
- ②新入会員の皆さん、当記念館には2Fに米山梅吉翁の遺品や功績が展示されています。学芸員の市川さんより説明して頂きますので聞いてください。

## 卓話

### スリランカの貧しい子供たちへの 文房具寄付プロジェクト

米山学友会 副会長 ペレーラ チャリットさん

スリランカの北部地域では30年間にわたり内戦が続いており、2009年ようやく終結しました。この地域の人々は、戦争中重度重なる避難と移住を強いられてきて、終戦後は徐々に元の生活に戻りつつあるが、長年の内戦の影響で発展が遅れており、多くの人々は未だに貧しい生活を続けています。勉強熱心な子供たちがほとんどですが、学校生活に必要な文房具等を購入してあげられる経済力がない親が多いのが現状です。

このような子供たちに少しでも役に立てるようになりたいと思い、2620地区米山学友会で、スリランカの貧しい子供たちに文房具を寄付するプロジェクトを企画しました。学友会の会員、奨学生、ロータリアンの皆様のご協力のもとで寄付金を集めて現地で必要な文房具を購入し、文房具を必要としている学校に寄付します。皆さんからの寄付金を私たち学友会が責任を持って文房具に変えて現地の貧しい子供たちへ届けます。

今回初の試みですが、これを2620地区学友会の毎年の事業の一環として取り入れる計画もあります。出来る限りたくさんの子供たちに少しでも役に立つために、皆さんからのご協力を心からお願いいたします。

ありがとうございました。



## 臨時理事役員会報告

平成28年10月28日金曜日 米山記念館

出席者 中山和雄・山口辰哉・石井和郎・服部光弥・宮澤正昭・米山晴敏

特別出席者 土屋巧

欠席者 内田憲一・鈴木政則・小林勝・兵藤弘昭

司会者 米山晴敏

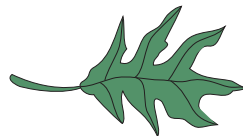
- 1.大村君の入会について  
出席者全員が承認です



## スマイルボックス

三島西RC／小野金彌君：メーキャップに来ました。

土屋 巧君：先日の家族会、新入会員の歓迎会に多くの会員の皆様にご参加頂きましてありがとうございました。親睦委員会は12月にメインイベントのクリスマス家族会もあります。これからもよろしくお願いします。



## ROTARY NEWS

### ハリケーン被害を受けたハイチを シェルターボックスとロータリーが支援

2010年地震の被害からまだ完全に立ち直っていないハイチが、ハリケーン「マシュー」による壊滅的被害を受け、数百人が死亡、さらに多くの人々がホームレスとなりました。カテゴリ4の大型ハリケーンにより、同国では推定33万人が被災し、6,400人が避難生活を余儀なくされています。主要な橋や交通ネットワークが破壊され、複数の地域が外部から遮断されています。豪雨による洪水や地滑りなどの被害も出ているほか、汚染水によるコレラやその他の伝染病も懸念されています。

これを受け、カナダ、英国、ニュージーランド、米国から、シェルターボックスのボランティアチームが、被害状況と支援方法を調べるために、ハイチの首都ポルトープランスに赴きました。独立した慈善団体であるシェルターボックスは、災害救援におけるロータリーのプロジェクトパートナーとなっています。

ロータリー会員、政府機関、その他の救済団体とともに、シェルターボックスは、島南部でのコレラ発生への対応と緊急シェルターに力を注いでいます。先週水曜日にハイチ南部のレカイに到着したシェルターボックスの救援物資は、コレラ感染者の検査と治療を行う保健従事者の活動で利用される予定です。

「シェルターキットに加え、太陽熱ライト、蚊帳、浄水ユニット、水運搬容器などの必要物資を提供したいと思います。これらはすべて、コレラへの対応に必要なものです」と、シェルターボックスの最高責任者、クリス・ウォーハムさんは話します。

時速250キロ近い強風を伴うハリケーン「マシュー」は、地滑りを引き起こす嵐として、ハイチで過去50年間で最悪の嵐とされています。